



パスト・ガバナー

井上 暎夫

(千里RC)

過去100年間で特筆すべき年度は、と問われた当時のステンハマーR I会長は1905年、1917年、1947年、1970年代半ば、1985年、2005年を挙げました。

私はこれに1908年を加えたいと思います。この年、マニュアル・ムノズとホーマー・ウッドの尽力によりサンフランシスコに2番目のクラブが誕生しました。若し2番目のロータリークラブが日の目をみせなかったら、ロータリーは一つのクラブで終わっていたのではないかとされています。

もう一つの出来事は、シカゴ・ロータリークラブに2人の新入会員が入ったことです。

一人はチェスリー・ペリーです。国際ロータリーの初代事務総長を32年勤め、25年間で取った休暇が1回、まさにロータリーに捧げた人生でした。ポール・ハリスは国際ロータリーの建設者と讃えました。

もう一人はアーサー・シェルドンです。「最もよく奉仕するものは最も多く報われる」の今日の第2モットーは、彼の演説から生まれました。ロ

ータリーの奉仕の理念や職業奉仕の考え方はシェルドンの提唱によるものです。特に日本のロータリアンに信奉者が多いと言われております。

今日の国際ロータリーが世界で200を超える国と地域に存在し、独自の奉仕団体となったのは、この年の種が芽生えたと言えるのではないのでしょうか。多くの先人たちの努力によって作られた素晴らしい組織を私たちは、次世代に確実に伝えていかねばなりません。それは一人一人の日々のロータリー活動によって齎されるものであります。

会員各位の、本年のご健勝とご活躍をお祈り申しあげます。